

令和7年度第1回指定管理者審査委員会 議事録

日 時 令和7年7月29日（火） 午後1時30分～午後4時20分
 場 所 日進市民会館 3階会議室
 出席委員 亀倉正彦、村上康司、平家勉、小金澤衣里（敬称略）
 欠席委員 黒田忠晃（敬称略）
 事務局 柏木晶（企画政策課長）、白木誠（同課主幹）、秋山里奈（同課主査）、渡邊凌（同課主事）
 説明の為に出席した者 大鐘徹也（学び支援課長）、栗崎明子（同課課長補佐）、磯村沙希（同課主任主査）
 傍聴の可否 不可（日進市情報公開条例第7条第5号に該当する事項を審議するため。）
 議 題 募集要領、業務仕様書及び審査要領について

発 言 者	内 容
事務局	1 開会（午後1時30分）
	2 挨拶 （企画政策課長による挨拶）
	3 自己紹介
	4 委員長及び職務代理者の選出及び委員長による挨拶
	5 諮問
	指定管理者の候補者の選定について （1）年次事業評価書 （2）指定管理候補者選定に係る審査
	6 議題（1）再選定施設の概要説明（現地見学）について
学び支援課	日進市民会館、ふれあい工房の概要説明 （対象施設の現地見学）
	再開（午後2時45分）
	議題（2）再選定施設の第三者評価
学び支援課	年次事業評価書について説明
委員長	質疑、意見を求める。
委員	評価点について、令和4年度以降全項目が4点で統一されており、合計80点という結果が続いている。 この点数の妥当性を問うつもりはないが、より高く評価できる部分や、逆に見直すべき点はなかったか。
学び支援課	安定した運営を行っていただいていることが、結果として現在の評価点に反映されていると認識している。特筆すべき事項や修正すべき点があれば評価につなげていきたいと考えているが、長年にわたる指定管理の実績により、同様の評価が継続している状況である。
委員	個人的には、たとえば施設が直面している課題に対して積極的に対応している

発 言 者	内 容
	ような場合には、5点の評価も十分検討に値するのではないかと感じている。
学 び 支 援 課	ご指摘のとおり、現行の評価項目では拾いきれない部分があるのも事実である。次回以降の評価書作成にあたっては、施設の特性に応じた個別評価項目の導入を検討したい。
委 員 員	今回、日進市民会館とふれあい工房を一体として評価しているが、施設ごとに分けて評価をするという方法はないか。
学 び 支 援 課	今後は施設単位で評価すべきかどうか検討していく。
委 員 員 長	評価に差をつけることも重要であると考えている。 市民会館とふれあい工房を一体的に評価することによって得られる効果はどのようなものがあるか。
学 び 支 援 課	たとえば、ふれあい工房で行っている陶芸教室を市民会館で開催したり、ふれあい工房で製作した食器を市民会館の料理教室で使用するなど、相互活用により利用者が増加しており、ソフト面での連携効果が現れていると考えている。
委 員 員 長	この取り組みは、評価基準のどこに該当するか。
学 び 支 援 課	「10番 施設利用の状況」または「11番 利用促進業務」に該当すると考える。
委 員 員 長	そうであれば「10番 施設利用の状況」または「11番 利用促進業務」を5点に変更するのはどうか。
学 び 支 援 課	「10番 施設利用の状況」は稼働率に関する項目であるため、「11番 利用促進業務」の方が適していると考えます。5点への引き上げについては問題ない。
委 員 員 長	各委員へ、「11番 利用促進業務」を4点から5点に変更することに、ご異議はあるか。
委 員 員	異議なし。
委 員 員 長	それでは、「11番 利用促進業務」の評価を5点とすることを、委員会からの提案として取りまとめる。
	議題（3）募集要領、業務仕様書及び審査要領の決定
学 び 支 援 課	募集要領、業務仕様書の説明
事 務 局	審査要領の説明
委 員 員 長	質疑、意見を求める。
委 員 員	副運営業務責任者について、2名以上配置し、そのうち1名を常時施設に配置するとあるが、その理解でよいか。
学 び 支 援 課	運営業務責任者1名および副運営業務責任者2名の計3名のうち、1名以上を常時市民会館に配置するものである。
委 員 員	この「施設」とは市民会館を指しているのか。
学 び 支 援 課	その通りである。
委 員 員	日進市少年少女発明クラブの運営において、会計を専用通帳で管理するとあるが、具体的にどのような運用を想定しているのか。
学 び 支 援 課	発明クラブは補助金による運営を行っている補助団体であり、市の予算書上には計上されない。指定管理に移行しても、同様に別会計での管理をお願いする想

発 言 者	内 容
	定である。
委 員	従業員ではなく「副運營業務責任者」という表記にしている理由は何か。
学 び 支 援 課	施設に問い合わせがあった際に、業務内容を十分に把握している職員が不在であることが多く、情報共有が滞ることがあるためである。したがって、責任をもって対応できる職員を常駐させたいという趣旨から、「副運營業務責任者」という役職名としている。
委 員	業務遂行上、市と頻繁に連絡を取る必要があるということか。
学 び 支 援 課	その通りである。 教育委員や教育長との調整を要する案件もあるため、常時対応可能な体制が必要であると考えている。
委 員	「※」の付された事業について「創意工夫のある提案を求める」と記載されているが、創意工夫の判断基準はどういったものか。
学 び 支 援 課	「※」が付されていない事業については、現行の市事業をそのまま引き継いで実施いただきたい意図がある。一方で、「※」付きの事業は、記載内容をあえて簡素にすることで、応募者による柔軟な提案を期待している。
委 員	その中身として市が期待しているものはあるか。
学 び 支 援 課	それぞれの事業について、市としての目的や趣旨は持っているが、具体的な内容の決定は応募者の裁量に委ねたいと考えている。
委 員	指定管理料の算出方法について、維持管理運営費から施設運営収入を差し引く仕組みだと、収入増によって指定管理料が下がるため、モチベーションが下がらないかという懸念があるが、どう考えるか。
学 び 支 援 課	指定管理料は応募者の提案によって定められるものであり、収入が増えた場合、その分はすべて指定管理者の利益となる構造である。
委 員	5～6ページにかけて、文末が「ですます調」と「である調」が混在している。 また、資料2-1の施設概要について、リハーサル室という名称は、軽運動室のことか。
学 び 支 援 課	条例上軽運動室となっているが、通称リハーサル室として表記している。
委 員	現在、市民会館は一体的に運用されているが、要綱などには中央公民館や勤労福祉会館といった区分が残っている。構造や運用の実態と乖離しているため、文書や条例の整理が必要ではないかと感じている。
委 員 長	事務局でご検討いただき、適切にご対応いただきたい。 加えて、資料2-6の9ページの「常時施設に配置する職員数」と「必要な人員数」が混在して読解が困難な部分があるため、説明会の際は丁寧に説明していただきたい。 また、資料2-6の2ページの部分について、施設の活用方法をより明確に示すとよいと思う。
委 員	同じく、積極的な応募を促すためにも主な設備などの情報があつた方が、提案にもつながるのではないか。

発 言 者	内 容
学 び 支 援 課	使用用途を示すようなお部屋の紹介みたいなことですね。
委 員	360 度画像なども活用し、具体的な利用イメージを持ってもらえるように工夫すべきだと感じる。
委 員	ふれあい工房の利用区分について、1 時間単位にしている理由はあるか。
学 び 支 援 課	ふれあい工房は元々福社会館の附属施設であり、当時から 1 時間単位の利用区分で運用されていた。現在もその利用形態を維持しているのは、既存利用団体からの要望があったためである。午前・午後といった時間帯区分への変更案もあったが、実際には 10 時～14 時など柔軟な使い方をする団体が多く、現状の利用実態に合っていることから、1 時間単位の区分を継続している。
委 員	市民会館の方はすべて 4 時間単位の区分にしているが、変更は考えていないか。
学 び 支 援 課	市民会館の大ホールや展示ホールについては、一体的な利用が必要であるため、現行の 4 時間区分を継続する方針である。一方、小会議室などについては、4 時間では長すぎるとの意見もあり、次回の使用料改正時には 2 時間区分への見直しを検討する予定である。なお、現指定管理者の日進アシストが空室状況に応じて 2 時間単位で半額貸出を行うなどの工夫をしており、こうした実態も踏まえて稼働率等を考慮した見直しを行う考えである。
委 員 長	ふれあい工房のように設備を利用した事業が寡占的に運営されている場合、停電などの突発的なトラブルによる影響が大きいことが懸念される。 また、年次事業評価書と審査基準の整合性について、今後の制度設計において検討すべきと感じる。事業者が提出した計画書に基づき事業を進めている以上、年次評価では計画書通りに実施されているかを評価項目として組み込むべきである。計画と実態に乖離があるケースも見受けられるため、評価の信頼性や透明性を高める観点からも、事業計画に沿った運営状況の把握が必要であると考え。 加えて、議題ごとの審査時間の配分についても偏りが見られる。特に第三者評価部分への質疑応答時間が短いことから、今後はより均等に時間配分すべきであると考え。 さらに、選定と評価を同一の委員会が担っている体制については、リスク回避の観点から評価機能を分離すべきかどうかも含め、検討していただきたい。
委 員 長	日進市民会館・ふれあい工房の募集要領、業務仕様書及び審査要領については資料のとおりとしてよろしいか。
委 員	異議なし。
委 員 長	「ですます調」と「である調」が混在している部分については、必要に応じて修正をお願いします。
事 務 局	今後のスケジュールについて説明。
	(閉会 午後 4 時 20 分)